

アイダホ州：小麦作柄と気象状

2005年7月12日

2005年7月10日現在

7月10日に終わる1週間の気温は平年より高く、夜間は37~56度F、日昼は81~100度Fであった。N地区での最高気温は82~96度Fであり、平年並みか多少平年を下回った。降雨はN地区にて0.23~0.56インチの驟雨が有ったが、他の地区では殆ど降雨は無かった。土壌水分は前週より減少した。灌漑用水の供給状態は前週と同じであった。1週間の州平均農作業稼働日数は6.7日（前週：6.8日）であった。

冬小麦は40%が登熟期にあり、この進捗は昨年（51%）並びに5年平均（47%）より遅れている。収穫は未だ開始されなかった。春小麦の進捗も昨年より遅く、6%が登熟期となった。昨年同期では15%（5年平均：14%）であった。冬小麦の作柄評価は前週より他少落ちたが、N地区に有った週は春小麦の作柄を改善した。

USDA 発表の7月1日付け冬小麦の生産量予想では、単位収量は6月1日付け予想より1.0 bu/ac増加し、92.0bu/acreとなった。6月中の適時の降雨、異常高温が無かったことが6月1日付け予想より増収となった要因と言える。春小麦の予想では、単位収量は80.0 bu/acで昨年実績より1 bu/ac多い結果であった。詳細は別表の通り。

Topsoil 土壌水分：2005年7月10日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This Week (%)	1	18	73	8
Last Week (%)	0	14	78	8

小麦生育状況：2005年7月10日現在

	North			Southwest			South Cent.			Sate		
	05	04	Ave	05	04	Ave	05	04	Ave	05	04	Ave
Spring W. Headed (%)	89	86	61	100	100	100	91	99	97	72	79	75
Winter W. Headed (%)	100	100	99	100	100	100	100	100	100	100	99	99
Harvested	-	1	1	-	3	2	-	-	-	-	1	-

vg. means 5-year 2000-2004 crop average. 05 means 2005, 04 means 2004 crop.

小麦の作柄状況：2005年7月10日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter Whet					
This week (%)	0	1	5	64	30
Last week (%)	0	1	5	64	30
Spring Wheat					
This week (%)	0	0	3	68	29
Last week (%)	0	1	5	64	30

灌漑用水状況：2005年7月10日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week (%)	0	2	14	75	9

Source: Idaho Agricultural Statistics Service

7月1日付けUSDA冬小麦生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				June 1	July 1		
ID	700	730	90.0	91.0	92.0	63,000	67,160
USA	34,462	34,271	43.5	44.1	44.5	1,499,434	1,525,302

7月1日付けUSDA春小麦生産予想：

Crop	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				June 1	July 1		
ID	490	450	79.0	-	80.0	38,710	36,000
State	13,174	13,637	43.2		43.2	568,918	588,740

当該作柄・気象レポートに付いてのご質問は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃 : <mailto:ogawa.max@omicnet.com>